

平成 28 年度大規模事業評価部会の審議結果について

平成 29 年 3 月 23 日
大規模事業評価部会

1 審議対象事業

- (1) 船形コロニー整備事業
- (2) 石巻好文館高等学校校舎等改築事業

2 事業概要

- (1) 船形コロニー整備事業

昭和 48 年に開設した船形コロニー（黒川郡大和町）は、障害者の日常生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく「障害者支援施設」として、地域での生活が困難な重度・最重度の知的障害者を、県内全域から受け入れている。

建物・設備の老朽化が進み、雨漏りや設備配管等の不具合が生じていることやバリアフリーに対応していない建物があること、一人当たりの居室の広さが国の基準を満たしていないなどの課題が生じていることなどから、入所利用者の日常生活や入所希望者の受け入れ等に影響が生じており、早期の生活環境の改善を図る必要があるため、現地建て替えによる整備を行うもの。

【参考】 予 定 地：黒川郡大和町吉田字上童子沢 2 1（現地）

敷地面積：466,603.24㎡（うち、整備敷地面積：約38,000㎡）

建設費：9,442百万円

事業規模

〔施設〕（新設）居住棟及び付属建物（活動、給食、事務管理）

〔構造〕鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造又は混構造

〔事業期間〕平成28年度から平成35年度まで

- (2) 石巻好文館高等学校校舎等改築事業

当該校の校舎は、前身である石巻女子高等学校の校舎として、東校舎は昭和42年、西校舎は昭和43年に旧耐震基準で建築され、平成18年4月の共学化に伴い「石巻好文館高等学校」として名称が改められたが、施設は継続して使用している。

これまで、平成17・18年に実施した耐震補強工事など、必要最小限の改修により施設の保全を図っているものの、校舎自体は既に建築後47～48年を経過しており、老朽化が著しいことから、改築を行うものである。

【参考】 改築予定地：石巻市貞山3丁目4番1号

建設費：3,811百万円

事業規模

〔施設・構造〕校舎 6,339㎡（鉄筋コンクリート造）

その他付属棟等 670㎡（鉄筋コンクリート造 他）

〔事業期間〕平成28年度から平成32年度まで

3 審議結果（答申概要）

2事業とも、事業を実施することは「妥当」とした。

なお、事業の実施に関する意見は、次のとおり。

(1) 船形コロニー整備事業

イ 事業の実施に当たっては、今後のニーズの変化等に適切に対応できる機能を備えた施設となるよう検討すること。

ロ 先進的な機能の導入等により、維持管理費用の縮減を考慮すること。

ハ 施設職員の労働環境についても配慮するとともに、長期的視点で職員の育成に努めること。

(2) 石巻好文館高等学校校舎等改築事業

人口減少・少子化の将来予測を踏まえ、新しい教育ニーズにも適切に対応できる学校運営の展開について配慮すること。

4 部会審議の経過

平成28年7月12日 諮問

7月20日 第1回部会開催（審議）

8月 9日 現地調査（船形コロニー）

8月25日 第2回部会開催（審議及び答申取りまとめ）

9月 1日 答申



宮城県船形ココロ

◆ 現況位置図 (建設時期, 入所利用者の特性, 入所利用者数) と建物整備の方向性, 入所利用者の方向性・整備場所

